

【2014年度入学生まで】

教職に関する科目

教育実習（高）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
教育実習（中）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
教職実践演習（中高）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3

教育実習（高校）

天野 かおり

科目ナンバリング		開講学期		単位数	3単位	配当年次	4年生
授業概要		教科書					
<p>本授業は、教育職員免許法に定める「教職に関する科目」のうち「教育実習」に該当する。ただし、本シラバスは、「教育実習」5単位のうち、「教育実習に係る事前及び事後の指導」1単位について特に示している。</p> <p>履修の条件については、「下関市立大学教職課程履修規定」の「教育実習の履修条件」による。</p>		書籍名		著者	出版社	出版年	
		『新編 教育実習の常識－事例に基づき必須66頁』		教育実習を考える会（編）	蒼丘書林	2000年	
		『高等学校学習指導要領』		文部科学省	東山書房	平成21年3月告示	
		参考書					
到達目標		書籍名		著者	出版社	出版年	
<p>①教育実習の意義と位置づけについて理解する。 ②教育実習生として最小限必要とされる知識や技能を定着させる。 ③教育実習生として最小限備えるべき授業力を完成させる。 ④教育実習生として最小限求められる資質や能力を完成させる。</p>							
評価の方法と基準		備考					
<p>評価の内訳は以下のとおりとする。 ①教育実習中の指導や連絡に関する準備の完成度20% ②教育実習生として求められる知識や技能の完成度30% ③教育実習生として求められる授業力の完成度30% ④教育実習の報告20%</p>							

授業の計画	
1	オリエンテーション シラバスを持参すること。授業の概要と到達目標、および評価の方法と基準について確認し、理解する。
2	教育実習の意義と位置づけ 教育実習の意義と位置づけを理解する。教育実習における自己の課題を明らかにするとともに、その解決や改善を図る具体策を構想し実践の計画を立てる。
3	教育実習の事前指導(1) 教育実習中の指導や連絡に関する準備の確認
4	教育実習の事前指導(2) 教育実習生として求められる知識や技能の確認
5	教育実習の事前指導(3) 教育実習生として求められる授業力の確認
6	教育実習の事後指導 教育実習の報告
7	総括 教職実践演習の準備に資するよう、教育実習録にもとづいた教育実習のふり返りを行う。
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

教育実習（中学校）

天野 かおり

科目ナンバリング		開講学期		単位数	5単位	配当年次	4年生																
授業概要		教科書																					
<p>本授業は、教育職員免許法に定める「教職に関する科目」のうち「教育実習」に該当する。ただし、本シラバスは、「教育実習」5単位のうち、「教育実習に係る事前及び事後の指導」1単位について特に示している。</p> <p>履修の条件については、「下関市立大学教職課程履修規定」の「教育実習の履修条件」による。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『新編 教育実習の常識－事例に基づき必須66頁』</td> <td>教育実習を考える会（編）</td> <td>蒼丘書林</td> <td>2000年</td> </tr> <tr> <td>『中学校学習指導要領 平成20年3月告示・平成27年3月一部改正』</td> <td>文部科学省</td> <td>東山書房</td> <td>平成20年3月告示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						書籍名	著者	出版社	出版年	『新編 教育実習の常識－事例に基づき必須66頁』	教育実習を考える会（編）	蒼丘書林	2000年	『中学校学習指導要領 平成20年3月告示・平成27年3月一部改正』	文部科学省	東山書房	平成20年3月告示				
書籍名	著者	出版社	出版年																				
『新編 教育実習の常識－事例に基づき必須66頁』	教育実習を考える会（編）	蒼丘書林	2000年																				
『中学校学習指導要領 平成20年3月告示・平成27年3月一部改正』	文部科学省	東山書房	平成20年3月告示																				
到達目標		参考書																					
<p>①教育実習の意義と位置づけについて理解する。 ②教育実習生として最小限必要とされる知識や技能を定着させる。 ③教育実習生として最小限備えるべき授業力を完成させる。 ④教育実習生として最小限求められる資質や能力を完成させる。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						書籍名	著者	出版社	出版年												
書籍名	著者	出版社	出版年																				
評価の方法と基準		備考																					
<p>評価の内訳は以下のとおりとする。 ①教育実習中の指導や連絡に関する準備の完成度20% ②教育実習生として求められる知識や技能の完成度30% ③教育実習生として求められる授業力の完成度30% ④教育実習の報告20%</p>																							

授業の計画	
1	オリエンテーション シラバスを持参すること。授業の概要と到達目標、および評価の方法と基準について確認し、理解する。
2	教育実習の意義と位置づけ 教育実習の意義と位置づけを理解する。教育実習における自己の課題を明らかにするとともに、その解決や改善を図る具体策を構想し実践の計画を立てる。
3	教育実習の事前指導(1) 教育実習中の指導や連絡に関する準備の確認
4	教育実習の事前指導(2) 教育実習生として求められる知識や技能の確認
5	教育実習の事前指導(3) 教育実習生として求められる授業力の確認
6	教育実習の事後指導 教育実習の報告
7	総括 教職実践演習の準備に資するよう、教育実習録にもとづいた教育実習のふり返りを行う。
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

教職実践演習（中・高）

天野 かおり

科目ナンバリング	開講学期	秋学期	単位数	2単位	配当年次	4年生																
授業概要		教科書																				
<p>本演習は、教育職員免許法に定める「教職に関する科目」である。本演習に含まれる事項は、①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③児童生徒理解や学級経営等に関する事項、④教科内容等の指導力に関する事項の4点である。なお、本演習は、教職課程の他の科目の履修や教職指導の成果が、学生の中で統合され、最終的に教員として必要な資質能力が形成されたことを確認するという、他の科目にはない特色を有していることを理解のうえ、受講すること。</p> <p>また、本授業の到達目標に照らして必要と思われる諸種の講話、演習、実習等を導入して当該授業の回に振替える、もしくは授業の回を追加する場合がある。その際、授業を行う場所が学外となる場合もある。※定期試験アリ</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『中学校学習指導要領 平成20年3月告示・平成27年3月一部改正』</td> <td>文部科学省</td> <td>東山書房</td> <td>平成20年3月告示</td> </tr> <tr> <td>『高等学校学習指導要領』</td> <td>文部科学省</td> <td>東山書房</td> <td>平成21年3月告示</td> </tr> <tr> <td>『生徒指導提要』</td> <td>文部科学省</td> <td>教育図書</td> <td>平成22年3月</td> </tr> </tbody> </table>					書籍名	著者	出版社	出版年	『中学校学習指導要領 平成20年3月告示・平成27年3月一部改正』	文部科学省	東山書房	平成20年3月告示	『高等学校学習指導要領』	文部科学省	東山書房	平成21年3月告示	『生徒指導提要』	文部科学省	教育図書	平成22年3月
書籍名	著者	出版社	出版年																			
『中学校学習指導要領 平成20年3月告示・平成27年3月一部改正』	文部科学省	東山書房	平成20年3月告示																			
『高等学校学習指導要領』	文部科学省	東山書房	平成21年3月告示																			
『生徒指導提要』	文部科学省	教育図書	平成22年3月																			
到達目標		参考書																				
<p>①上記の「授業の概要」においてあげた4つの観点から、自己にとって何が課題であるのかを自覚する。 ②自覚にもとづいて不足している知識や技能等を補い、それら知識や技能等の定着を図る。 ③以上により、教員として最小限必要な資質能力の全体について、教職課程の履修を通じて、確実に身に付けることができたか否かを明示的に確認する。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『中学校学習指導要領解説 総則編』</td> <td>文部科学省</td> <td>株式会社ぎょうせい</td> <td>平成20年9月</td> </tr> <tr> <td>『中学校学習指導要領解説 総則編（抄）』</td> <td>文部科学省</td> <td></td> <td>平成27年7月</td> </tr> <tr> <td>『高等学校学習指導要領解説 総則編』</td> <td>文部科学省</td> <td>東山書房</td> <td>平成21年11月</td> </tr> </tbody> </table>					書籍名	著者	出版社	出版年	『中学校学習指導要領解説 総則編』	文部科学省	株式会社ぎょうせい	平成20年9月	『中学校学習指導要領解説 総則編（抄）』	文部科学省		平成27年7月	『高等学校学習指導要領解説 総則編』	文部科学省	東山書房	平成21年11月
書籍名	著者	出版社	出版年																			
『中学校学習指導要領解説 総則編』	文部科学省	株式会社ぎょうせい	平成20年9月																			
『中学校学習指導要領解説 総則編（抄）』	文部科学省		平成27年7月																			
『高等学校学習指導要領解説 総則編』	文部科学省	東山書房	平成21年11月																			
評価の方法と基準		備考																				
<p>成績評価の内訳は、随時、提出を求める「予習ノート」と「学習ノート」および「学びの振り返りノート」、グループワーク等を通じて各自が作成した学習指導案と模擬授業ならびに授業研究による評価を40%、それらを踏まえ、振替あるいは追加も含むすべての授業への主体的な取組に対する評価を40%、基礎知識の確認テスト等も含めた「学習のポートフォリオ」による評価を20%とする。なお備考も参照すること。</p>		<p>指定された範囲の教科書の概要をまとめ関連項目の下調べをおこなった「予習ノート」の作成を準備学習として求める。授業後には授業の内容を反映させた「学習ノート」を作成する。さらに15回の授業終了後には予習ノートと学習ノート、作成した学習指導案と授業研究ノート、事例研究ノート、基礎知識の確認テスト等を時系列に沿って整理し、学習成果の振り返りができるよう綴じた「学習のポートフォリオ」を作成することを課す。</p>																				

授業の計画	
1 オリエンテーション	シラバスを持参すること。いずれの回も、自己学習にもとづいた能動的なかわりを出席の要件とする。
2 教員に求められる資質や能力について(1)	教員に求められる資質や能力について確認し、「学び続ける教員像」という観点から、教師としての専門職像を構想する。（授業概要の①に対応）
3 教員に求められる資質や能力について(2)	(1)教員養成をめぐる近年の文部科学省答申にもとづいてディスカッション (2)履修カルテの自己分析
4 教員に求められる資質や能力について(3)	(3)先の(1)と(2)にもとづいた自己省察をレポート
5 授業力の向上を図る(1)	教育実習の振り返りを行い、現職教員等のゲストティーチャーの指導のもとに授業力を高める。（授業概要の④に対応）
6 授業力の向上を図る(2)	(1)教育実習録にもとづいた自己省察をレポート
7 授業力の向上を図る(3)	(3)模擬授業（各教科）と授業研究
8 授業力の向上を図る(4)	(4)模擬授業（特別活動）と授業研究
9 教育の現代的課題をめぐる探究(1)	学級経営の視点から、教育の現代的課題をめぐる解決策を探究する。（授業概要の③に対応） (1)事例研究～いじめ問題
10 教育の現代的課題をめぐる探究(2)	(2)事例研究～不登校問題
11 教育の現代的課題をめぐる探究(3)	(3)先の(1)と(2)にもとづいてロールプレイングと考察
12 学校改善の最新動向について(1)	「地域とともにある学校づくり」にかかる実践事例を取り上げ、学校に求められる組織的対応について理解する。（授業概要の②に対応）
13 学校改善の最新動向について(2)	(1)「コミュニティ・スクール」をテーマにフィールドワーク (2)「保護者対応」をテーマにロールプレイングと考察
14 学校改善の最新動向について(3)	(3)先の(1)と(2)にもとづいた自己省察をレポート
15 総括	まとめ